

岡山歴史研究会令和4年度総会資料(案)

1. 総会次第
2. 第1部 定期総会資料
 1. 第一号議案 令和三年度事業報告
 2. 第二号議案 令和三年度会計報告
 3. 第3号議案 令和四年度事業計画
 4. 第4号議案 令和四年度予算(案)
 5. 第5号議案 役員について
 6. 第6号議案 会則(附則)の一部改正(案)
3. 添付資料
各委員会等で作成した資料をご参照ください

岡山歴史研究会

令和四年度 定期総会

- 1.日時 令和四年4月29日(金) 13時30分～(終了予定16時30分)
2.場所 県立図書館 2階 多目的ホール

総合司会 濱手英之

総会開会の挨拶

会長(代行) 楠敏明

第1部 定期総会(議案審議)

13時30分～14時10分

議事 議長選出(規約第6条1項の規定により会長が務める)

第1号議案 令和三年度事業報告

第2号議案 令和三年度決算報告と監査報告

第3号議案 令和四年度事業計画(案)

第4号議案 令和四年度予算案(案)

第5号議案 役員改選(案)

第6号議案 会則(附則)の一部を改正(案)

連絡事項他参考資料

(休憩＝14:20～14:30)

第2部 講演

14時30分～16時30分

記念講演 高橋義雄氏(会員 語り部の会講師)

題目:「日本の近代を創造した渋沢栄一と三島中洲の親交」

講師紹介 昭和17年4月(1942)倉敷市西阿知町生まれ 昭和41年3月 岡山大学法文学部法学科卒業 平成22年3月 岡山大学大学院博士前期課程修了(修士) 平成29年3月 同博士後期課程単位取得 昭和41年4月 中国銀行入行 支店長歴任 平成9年4月(社)岡山国際経済交流協会設立・事務局長 平成16年3月 同 理事、事務局長 平成20年6月 同退任・中国銀行退職 平成20年7月 NPO 法人岡山県文化交流国際協力会理事長、21年5月 退任 平成30年 岡山大学経済学部非常勤講師

表彰歴 昭和52年～58年「中国銀行五十年史」編纂 同59年 日本経営史研究所より「優秀会社史賞」(日本一の社史)受賞 中国銀行より自己啓発賞、支店経営に業績優秀賞、小さな親切協会より国際貢献賞

役員歴 21おかやま産業人クラブ、岡山武蔵倶楽部、多文化クラブ、岡大法文経学部同窓会、方谷研究会、郷土の歴史・経済・文化研究会、岡山歴史研究会、岡山近代史研究会、社会経済史学会、日本金融学会

編・著書 『字典』、「中国銀行五十年史」、「岡山県史」、「新修倉敷市史」、「岡山県柔道の歩み」、「高梁川」、「北進」、「山田方谷ゼミナール」、「おかやま財界」、「おかやま百てん」、「岡山歴史人物事典」、「柔道」、「岡山経済」、「岡山日々新聞」、郷土史ほか多数 **講演回数** 多数

閉会挨拶

大河原 喬 副会長

第1部 定期総会 資料

第1号議案 令和三年度事業報告（報告者：事務局長）

1. 総括

平成22年(2010年)10月に発足した岡山歴史研究会は令和2年秋に10周年を迎えました。そこで、令和3年度は10周年記念誌の発行と、記念行事を計画しました。10周年記念誌は「二千年の歴史・岡山の輝き」と題する記念誌を4月末に発行することができました。会員をはじめ、県内の図書館、公民館、及び大学に贈呈すると共に、頒布事業も行い、高い評価を得ることが出来ました。

一方、記念行事は、岡山大学の槇野学長をお迎えし、記念講演を2月に実施する計画を立てましたが、コロナ禍が続き、やむなく延期し、令和4年5月に実施することになりました。

その他の事業、行事は例年通り、各事業委員会を中心にして行いました。サロン会9回、探訪会2回、会報発行3回、そして、語り部の会は7人が、公民館等で15回の講演を行いました。

なお、会員数は令和3年度末現在で、顧問を含めて158名になっております。

2. 各委員会の活動

○事業委員会 事業委員長：工藤博

- ・令和3年10.1に総社市秦の郷歴史遺産ウォーキングを34名、また4年3.15備前市日生湾・鶴島でキリシタン遺跡などを訪ねるクルージンを33名参加で開催しました。
- ・「秦氏の史跡巡り～京都」企画は、新型コロナウイルスの蔓延から今年度も開催が難しく新年度での企画中です。

○サロン委員会 サロン委員：板野忠司

・コロナ禍の中で中止や延期を余儀なくされた回もありましたが、た日曜サロンも定期的に開催を続け、会員相互の交流を主眼にしたサロン懇話会も開催してきました。合わせて9回のサロンを開催し多数の方にご参加いただきました。

○編集委員会 編集委員長：井上知明

- ・昨年度は8月に30号、11月に31号、2月に32号の計三回の号を編集発行いたしました。

◇ホームページ・オンライン委員会担当：雨坪 寿則委員

毎月の歴研ニュースなどを掲載。オンラインでの交流や新しいホームページシステムを使つてのホームページ作成の取り組みを始めました。またZOOMによるオンライン会議を実施しました。

○吉備国語り部の会 出前講座委員会 委員長：丸谷憲二

- ・現在14名の講師が登録。県内各地の公民館に出前講座の案内文を配布いたしました。
- ・また各地の公民館などの協力を得て、出前講座講演会を開催しました。

○特別企画委員会 委員長：高橋義雄

- ・10周年記念誌の頒布及び図書館及び公民館などへの贈呈の事業を進めてきました。
- ・10周年記念行事として槇野岡大学長を迎えての特別講演会を企画・実施の準備を進めてきました。当初、2月に実施の予定で準備を進めてまいりましたが、新型コロナの蔓延拡大により実施は困難になりましたが、5月に実施の予定で準備継続中です。

3. 友好諸団体との交流

- ・全国歴研をはじめ全国各地の歴史研究団体との機関誌の交流などを続けてきました。
- ・県内各地の歴史系団体との連携や協力活動を進めてまいりました。
- ・7月には、東京の岡山の歴史研究グループと県内の歴史系団体の協賛により「岡山・東京定説への反乱シンポジウム」が、7月10～11の両日、が岡山市中央町の陰涼寺ににおいて開催されました。

第2号議案 令和三年度会計報告

岡山歴史研究会 令和3年度 決算報告書

2022/03/31

(1) 収入の部 (単位 円)

項 目	令和3年度予算(案)	令和3年度決算状況	特記事項	備 考
繰越金	229390	229390		
事務局調整返金	0	35588		
会 員	402000	205500	102名(57+12)	納入会員 134名予定
各事業委員会収入	350000	245300		
その他収入(記念誌郵送料)	0	5700		
その他収入(寄付・広告)利息	100000	3		機関紙広告・寄付金
合 計	1081390	721481		

(2) 支出の部

項 目	令和3年度予算(案)	令和3年度決算状況	特記事項	備 考
事務費				
通信費	120000	93489		
消耗費	15000	29550		
印刷費	12000	16585		
事務局費	100000	84000		
小 計	247000	223624		
会議費				
顧問会議費	5000	0		
運営委員会費	15000	12880		
正副会長会議費	5000	0		
小 計	25000	12880		
活動費				
総会費	80000	72730		
常設委員会	50000	18261		
機関紙発行費	168300	141900		
HP管理費	40000	2216		
各事業委員会経費費	250000	217633		
支払手数料	3000	3086		
小 計	591300	455826		
予備費	100000	0		
合 計	963300	692330		
支差額(次年度繰越金)	118090	29151		

特別会計(十周年記念特別事業)

(1) 収入の部

項 目	令和3年度予算(案)	令和3年度決算状況	特記事項	備 考
繰越金	292826	292826		
十周年記念誌販売額	400000	500000		
十周年記念 広告協賛金	205000	195000		
十周年記念 協賛寄付金	645000	670000		
クラウドファンディング事業	1000000	0		
合 計	2542826	1657826		

(2) 支出の部

項 目	令和3年度予算(案)	令和3年度決算状況	特記事項	備 考
十周年記念誌作成費	860000	858000		1000冊印刷費用
十周年記念講演事業	700000	110000		記念講演会広告類
特別事業活動経費	0	19223		
特別事業消耗備品	0	59496		名入封筒・チラシ類
CF経費・振込手数料	400000	4510		
合 計	1960000	1051229		
支差額(次年度繰越金)	582826	606597		

全ての帳票をもとに監査した結果、正当であることを認めます

令和 4 年 4 月 25 日

監事

那須文平



第3号議案 令和四年度事業計画(案)

<総括的事項>

1. 基本方針

令和4年度も例年通り、活動は各事業委員会を中心に行います。いまだコロナ禍もさめやらない状況にあり、本年度は無理のないペースで各事業を進めていきたいと考えています。

まずは、令和3年度で延期されてきた10周年記念行事を5月22日(日)に成功裏に終われるように実施する予定です。歴研サロンは月1回ペースでの開催、探訪会は年2回、会報は年3回の発行を予定しています。語り部の会は、8人の講師で、現在のところ年18回の公民館等で講演を行うことが決まっています。

前年度からの課題として、専門(時代別やテーマ別部会)のグループ活動を積極的に進めてまいります。10年記念誌の活用を通して、県内の歴史愛好家や特に若い世代への歴史への関心を高める取り組みを進めてまいります。すでに大学図書館などへの贈呈をさせていただいていますが、さらにこれを拡大してまいります。

最近では、歴史関係他団体や歴史愛好家の間でもオンラインやインターネット、ホームページなどの活用が進んでいます。当会におきましてもホームページやオンラインを活用した活動への取り組みをさらに積極的に進めてまいります。

2.各委員会の活動目標

○事業委員会・

6月初頭には笠岡市の高島などへ、秋には岡山市方面での歴史ウォーキングを企画しています。会員の研鑽と会員相互の親睦を図ってまいります。コロナ禍で延期が続いている京都方面への、秦氏の史跡を巡る探訪会は、状況をみながら実施する予定です。

○サロン委員会

・昨年度に引き続き、サロンを開催してまいります。今年度は、これまで歴研サロン、サロン懇話会、日曜サロンとあったものを統一的に開催していく方針です。継続的に開催してまいります。専門講師による講座や講演会、会員の研究発表、会員及歴史愛好家との交流の場としてまいります。

○編集委員会

・会報は、会員の研究発表や活動の紹介の場として従来どおり年間3回の発行を行ってまいります。
(通常 7月、11月、3月に発行予定)

○ホームページ・オンライン委員会

昨年度に引き続き、ホームページの充実とホームページからの入会や参加の申し込みができるようにしていくなど活用策を進めてまいります。またオンラインを使つての ZOOM 会議の開催や、講演会などのネットでの配信などの取り組みを支援していきます。

○語り部委員会

「語り部」委員会は各地の公民館などと連携して、講師の派遣などに実績を残してきました。今年度はさらに各地の教育委員会や公民館などとも連携を深めて郷土の歴史の発展と普及に尽くしてまいります。今年度は、岡山歴史研究会の活動趣旨に賛同を得た官民団体への出前講座の実施。特に講師・講座リストの整備を引き続き進めていきます。現在14名の講師陣が登録されていて、4月1日現在県内各地19か所での講演が予定されています。

○特別企画委員会

□岡山歴研10周年記念講演会 5月22日 日曜日 会場：山陽新聞社さん太ホール(岡山市北区柳町2丁目) 演題：「岡山大学医学部150年&人と地球の健康」 講師：榎野博史氏(岡山大学学長・医学博士)
10周年記念誌頒布事業は、県内各大学図書館への贈呈、各協力者関係団体などへの贈呈及び頒布を進めてまいります。

3.友好諸団体との連携協力事業

県内外の歴史系団体との連携をさらに強化していきます。

現在決まっているのは、9月に開催予定の「定説への叛乱 岡山・東京シンポジウム」に協賛します。そのほか、県内外の関係諸団体との連携を強化してまいります。

4号議案 令和四年度予算(案)

岡山歴研 令和4年度 予算案

2022/4/1 0:00

(1) 収入の部

(単位 円)

項 目	令和3年度予算(案)	令和3年度決算状況	令和4年度予算案	備 考
繰越金	229390	229390	29151	
事務局調整	0	35588	50000	特別会計より補填
会費	402000	205500	330000	納入会員 110名予定
各事業委員会収入	350000	245300	350000	
その他収入(寄付・広告)	100000	5700	60000	寄付金
利息	0	3	0	
合 計	1081390	721481	819151	

(2) 支出の部

項 目	令和3年度予算(案)	令和3年度決算状況	令和4年度予算案	備 考
事務費	通信費	120000	93489	100000
	消耗費	15000	29550	15000
	印刷費	12000	16585	20000
	事務局費	100000	84000	100000
	小 計	247000	223624	235000
会議費	顧問会議費	5000	0	5000
	運営委員会費	15000	12880	15000
	正副会長会議費	5000	0	5000
	小 計	25000	12880	25000
活動費	総会費	80000	72730	80000
	常設委員会	50000	18261	30000
	機関紙発行費	168300	141900	151000
	HP管理費	40000	2216	20000
	各事業委員会経費費	250000	217633	250000
	支払手数料	3000	3086	3000
	小 計	591300	455826	534000
予備費	100000	0	0	
合計	963300	692330	794000	
支差額(次年度繰越金)	118090	29151	25151	

特別会計(十周年記念特別事業)

(1) 収入の部

項 目	令和3年度予算(案)	令和3年度決算状況	令和4年度予算案	備 考
繰越金	292826	292826	606597	
十周年記念誌販売額	400000	500000	100000	
十周年記念 広告協賛金	205000	195000	100000	記念講演入場料
十周年記念 協賛寄付金	645000	670000	40000	
合 計	2542826	1657826	846597	

(2) 支出の部

項 目	令和3年度予算(案)	令和3年度決算状況	令和4年度予算案	備 考
十周年記念誌作成費	860000	858000	50000	一般会計補填
十周年記念事業会場費等	700000	110000	200000	
特別事業活動経費	—	19223	20000	
特別事業消耗品費	—	59496	150000	チラシ・資料作成含む
CF経費・振込手数料	400000	4510	4000	
合 計	1960000	1051229	424000	
支差額(次年度繰越金)	582826	606597	422597	

第5号議案 役員改選について

今年度は、空席となって代行体制が続いた会長職の他、諸般の事情から退任を希望される役員の方もあり。それに代わる役員体制の整備を進めてまいります。

役員名簿(案)

顧問

役 職	氏 名
会 長	楠敏明
副会長	山崎 泰二
	大河原 喬
	中山幸子(兼務)
事務局長	山田 良三
事務局次長	濱手 英之
会 計	中山 幸子
監 事	那須丈平
	内田武宏
運営委員 (50音順)	雨坪 寿則
	板野 忠司
	井上 知明
	井上 秀男
	加納隆司
	工藤 博
	津曲 真人
	富久 豊
	長安 登美枝
	丸谷 憲二
	薮下 義文
	山崎佳奈子
	金谷孝則

(50音順)

氏 名	主な肩書
石井 保	前会長
大田弘之	前会長
岡野 進	熊山遺跡調査・研究会会長
金岡 誠	高梁方谷会会長
小嶋光信	岡山藩郡代津田永忠顕彰会会長
佐藤光範	星と太陽の会主宰
清水 男	総社商工会議所会頭
出宮 徳尚	古代吉備国を語る会
長瀧 薫	美作の中世山城連絡協議会
中山 亘	前副会長
野崎 豊	全国いわくら学会岡山世話人
橋本正純	新見庄中世たたら実行委員会
松畑 熙一	吉備学会名誉会長
雪吉政子	前副会長
渡辺道夫	高梁方谷会副会長
高橋義雄	前運営委員 特別企画委員長

+3

各委員会

- ・事業委員会 委員長:工藤博
- ・サロン委員会 委員長:板野忠司
- ・編集委員会 委員長:井上知明
- ・ホームページ・オンライン委員会 委員長:雨坪久則
- ・語り部委員会 委員長:丸谷憲二
- ・特別企画委員会 委員長:高橋義雄 (令和3年度末で退任の意向でしたが、5月22日の記念講演会開催までは委員長として職務を務めていただく予定です。)

第 6 号議案 会則（附則）の一部改正（案）

現状

別表

1 会員

個人会員とする

2 会費

年間 3, 0 0 0 円とする

年度中途の入会者については、1 0 月 1 日以降に入会した場合に限り、当該年度は年額 1, 5 0 0 円とする

改正案

別表

1 会員

個人会員とする。

2 会費

年間 3, 0 0 0 円とする。

年度中途の入会者については、1 0 月 1 日以降に入会した場合に限り、当該年度は年額 1, 5 0 0 円とする・

3 退会規定

会費を 2 年以上滞納した者は退会者とみなす。

以上